

人間環境学府人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース カリキュラム・マップ

科目	科目区分	科目名	担当教員	科目名	担当教員	科目名	担当教員	科目名	担当教員
再履修可能な科目	必修科目	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程
		心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程
再履修可能な科目	必修科目	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程
		心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程	心理学基礎	博士課程

学期	科目	M1				M2				D1		D2		D3		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	Q1-2	Q3-4	Q1-2	Q3-4	Q1-2	Q3-4	
実習	実1-1 実習を通して人の様々な生活場面に對する理解、共感的態度、倫理的態度、豊かな表現力およびコミュニケーション能力を身に付け、協働して問題解決にあたることができる。															
	実1-2 実習を通して人の様々な生活場面に對する理解、共感的態度、倫理的態度、豊かな表現力およびコミュニケーション能力を身に付け、協働して問題解決にあたることができる。															
	実1-3 実習を通して人の様々な生活場面に對する理解、共感的態度、倫理的態度、豊かな表現力およびコミュニケーション能力を身に付け、協働して問題解決にあたることができる。															
	実1-4 実習を通して人の様々な生活場面に對する理解、共感的態度、倫理的態度、豊かな表現力およびコミュニケーション能力を身に付け、協働して問題解決にあたることができる。															
研究	研1-1 分析・解釈によって得られた結果を要約し、学術論文として作成することができる。また、それらの研究結果に基づき具体的な研究計画を立てることができる。															
	研1-2 分析・解釈によって得られた結果を要約し、学術論文として作成することができる。また、それらの研究結果に基づき具体的な研究計画を立てることができる。															
	研1-3 分析・解釈によって得られた結果を要約し、学術論文として作成することができる。また、それらの研究結果に基づき具体的な研究計画を立てることができる。															
	研1-4 分析・解釈によって得られた結果を要約し、学術論文として作成することができる。また、それらの研究結果に基づき具体的な研究計画を立てることができる。															
総合	総1-1 心理学・社会学テーマに対する調査、実験、観察的アプローチを用いた専門的技術を十分に活用し、インタビュー・アンケート等の研究技法を駆使し、データを適切に解釈・分析することができる。															
	総1-2 実験を必要とする条件下で、人とその関係性に対してアセスメントに基づく心理検査を行うことのできる。															
	総1-3 各種場における臨床事例について、適切な心理検査を行うために、適切な心理検査のアセスメントを実施し、データに基づき適切な分析を行うことができる。															
	総1-4 各種場における臨床事例について、適切な心理検査を行うために、適切な心理検査のアセスメントを実施し、データに基づき適切な分析を行うことができる。															
臨床	臨床1-1 臨床心理学研究の基礎的な研究手法についての知識を身に付ける。															
	臨床1-2 保護観察、福祉、教育等の各種場における心理検査や評価に関する知識、制度についての知識を身に付け、それぞれの場に応じた適切な心理検査の選択や実施方法について理解することができる。															
	臨床1-3 生涯にわたる心理的課題・危機についての知識を身につけ、それぞれの場に応じた適切な心理検査の研究計画に基づき実施することができる。															
	臨床1-4 生涯にわたる心理的課題・危機についての知識を身につけ、それぞれの場に応じた適切な心理検査の研究計画に基づき実施することができる。															
専門的	専門1-1 多様な状況の対応を行い、倫理と協働して問題解決にあたることのできる。															
	専門1-2 豊かな表現力と臨床心理学の専門的知識を駆使して、専門的知識と研究技法の統合的な活用と批判的検討の過程を自ら進めることができる。															
総合	総合1-1 豊かな表現力と臨床心理学の専門的知識を駆使して、専門的知識と研究技法の統合的な活用と批判的検討の過程を自ら進めることができる。															

※コースにおいては、単位認定で、臨床実習内容の修得に加え、学生の学習目標、C1の達成度（臨床心理学における基礎的知識・習得および心理検査や心理測定などの実用知識）を評価するために以下のフィードバックを行います。入学時、修2年への進級時、修3年の修了時において、修2年修了時において、研究開発委員会の委員を募集し、委員の意見に基づき修2年、C1の達成度（心理臨床に関するテーマや方法に関する技術、データの収集・分析）を確認する。修3年修了時において、修3年次委員を募集し、委員によって修3年修了時、D2の達成度（研究開発と社会への貢献、協働的問題解決・倫理観・社会への還元）の評価を行う。